

化学職って??

福岡県職員 化学職志望者向け  
パンフレット



福岡県環境保全技術者の会



# ごあいさつ

福岡県の化学職の紹介パンフレットをご覧くださいありがとうございます。  
福岡県の採用試験の中には、「化学」という試験区分が複数あります。選考試験の研究職員については業務のイメージを持ちやすいと思いますが、I類試験の化学職を受験しようとしている方にとっては入庁後の仕事のイメージが湧きにくいのではないのでしょうか。  
そこで、就職先として福岡県の化学職に興味を持たれた皆さんに、具体的な仕事のイメージを持っていただくためにパンフレットを作成しました。

福岡県では、化学職は主に環境部門に配属されており、大気汚染や水質汚濁などの深刻化した公害問題への対策が講じられ始めた1960年代に採用が始まり、その後、廃棄物の不適正処理、地球温暖化、循環型社会の形成など、新たに生じる行政課題の解決に取り組んできました。

環境行政における課題解決のためには、データや科学的根拠に基づいた対応が必要であり、技術系の職種である化学職は福岡県の環境部門において大きな役割を果たしています。

また、最近の環境行政においては、脱炭素社会への移行、生物多様性保全、プラスチックごみ対策など、様々な新たな課題に直面しており、福岡県の環境行政における化学職の重要性は年々増しています。

このような新たな課題に対しては、柔軟な発想で幅広い視点から解決策を検討、実行することが求められますし、解決が困難な場面では、ひるむことなく粘り強く取り組むことが必要とされます。また、県民全体への奉仕者である県職員としては、住民や事業者の方々と十分にコミュニケーションを取りながら業務を遂行していくことが重要です。

業務において困難に直面することもあります。それだけに、課題が解決できた時には、大きな達成感、やりがいを感じられる仕事です。

福岡県の豊かな環境を次世代に引き継ぐため、チャレンジ精神あふれる皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

福岡県環境保全技術者の会 会長 田口 靖三

「福岡県環境保全技術者の会」は、環境保全業務に従事する化学職等の福岡県職員で構成されており、会員の資質向上等のため、研修会や交流会、資格取得に対する助成等の活動を行っています。

設立 昭和55年3月

会員数 102名(令和8年1月6日現在)

(化学職以外の職員も加入)



1. 化学職の配属先と仕事内容
2. 主な配属先の位置図
3. とある職員ビジネスレポートの業務日誌
4. 化学職のキャリアパス
5. 入庁1年目職員あゆみのあれこれ
6. 先輩職員あゆみの軌跡
7. 化学職のバックグラウンド
8. 化学職Q&A よくある質問



## エコトンの紹介

パンフレットの表紙やページの随所にいる  
ぼくは、福岡県のマスコットキャラクターの  
「エコトン」と言います！

このパンフレットには、ぼくの家族のパパ  
トン、ママトンとヒメトンも出演しているん  
だ。

### 【試験区分と業務の関係】

このパンフレットで紹介されている化学職は、主に行政業務を担当します。一方で、研究業務を行う職員として勤務するには、化学職の「大学卒業程度（I類）試験」とは異なる試験区分に合格する必要があります。

＼詳しくは試験案内をチェック／

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/saiyo.html>





# 1. 化学職の配属先と仕事内容

## 化学職の配属先

化学職は主として本庁の環境部、または、出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門に配属され、福岡県の環境行政を担っています。

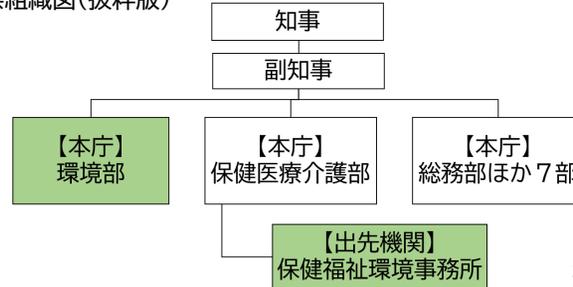
なお、環境部以外の配属先としては、商工部の水素エネルギー関係部署、県土整備部の水道関係部署、また、リサイクル総合研究事業化センターや下水道管理センターへの派遣などがあります。

福岡県では、SDGsの考え方を取り入れた環境行政の基本計画である環境総合ビジョンに基づき、各分野での取り組みを進めており、こちらでは、環境部関係の所属の仕事内容を御紹介します。

※福岡県の環境の取組は、福岡県環境白書や福岡県環境総合ビジョンでも紹介されています。

環境白書はこちら↓

県組織図(抜粋版)



## 環境部関係の仕事内容

### 本庁環境部

### 環境政策課

環境政策課では、環境政策に関する県庁の司令塔として、環境行政の全体的な企画・調整や環境白書の作成、環境部全体の人事、予算編成を行っています。

また、個別の事業として、国際環境協力や県民向けの環境教育・環境イベントなどにも取り組んでいます。国際環境協力の分野では、公害を克服する過程で福岡県が培ってきた環境技術やノウハウを活かし、海外の自治体(ベトナム、中国、タイ、インド等)と協力しながら、越境大気汚染の問題や現地の廃棄物問題の解決に取り組んでいます。

### 環境保全課

環境保全課では、県民の日常生活を取り巻く大気や水、土壌などの環境を保全し、安全で快適に生活できるようにするための業務に取り組んでいます。

その内容は、県内の大気(PM<sub>2.5</sub>やオキシダントなど)の常時監視や、河川・海域における水質監視、工場への立入検査・指導、土壌汚染対策、PRTR法に基づく化学物質の管理、環境中の放射線のモニタリングなど多岐にわたっています。また、家庭・事業所の省エネルギー対策や気候変動への適応など、地域における地球温暖化対策の推進にも取り組んでいます。



## 循環型社会推進課

循環型社会推進課では、廃棄物の発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)の3Rの推進に取り組んでいます。

具体的には、リサイクル関係法に関する事務、リサイクル技術・システムの開発と普及の促進、リサイクル製品認定制度や県産リサイクル製品認定制度の運用を行うほか、食べ残しを減らす取り組みを行っている飲食店等「食べもの余らせん隊」の登録・PR支援、フードバンクの普及を促進する事業など、食品ロス削減に向けた取り組みも行っています。

## 廃棄物対策課

廃棄物対策課では、廃棄物の適正処理の推進のため、廃棄物行政の総合的な企画・調整等を行っています。

具体的には、県廃棄物処理計画の策定と進行管理、浄化槽の整備促進、PCB廃棄物の適正処理推進、漂着ごみ対策のほか、一般廃棄物の処理施設、産業廃棄物の処理業及び処理施設、使用済自動車等の解体業及び破砕業の許可審査等を行っています。

## 監視指導課

監視指導課では、事業活動から発生する産業廃棄物の不法投棄や不適正処理を防止・是正することにより、適正処理の推進に取り組んでいます。

具体的には、産業廃棄物の排出業者や処理業者に対する立入検査・指導、パトロール車や県警ヘリによるパトロール、講習会の開催等を行い、不法投棄や不適正処理に対しては、現地調査を行い、改善指導や改善命令等の行政処分等を実施しています。

## 自然環境課

自然環境課では、福岡県の豊かな自然環境を守り、次世代につないでいくため、希少種保護や外来種対策をはじめとする生物多様性の保全などに取り組んでいます。

具体的には、県内の希少野生生物をまとめたレッドデータブックの発行や外来種リストの作成、鳥獣保護区の指定や傷病鳥獣の保護による鳥獣保護対策、環境アセスメントの審査、自然公園内におけるキャンプ場などの利用施設や自然歩道の整備、温泉の掘削・利用等許可に関する審査等を行っています。



## 出先機関（県内6か所）

筑紫保健福祉環境事務所	北筑後保健福祉環境事務所
宗像・遠賀保健福祉環境事務所	南筑後保健福祉環境事務所
嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	京築保健福祉環境事務所

※各事務所の所在地は隣のページをチェック！

## 地域環境課/環境課地域環境係

地域環境課/環境課地域環境係では、地球温暖化対策、自然環境の保全や浄化槽等に関する業務を行っています。

具体的には、温泉、自然公園、浄化槽に関する申請・届出の審査・指導や傷ついた野生鳥獣の保護等を行っています。

また、地球温暖化、3Rの推進や生物多様性の保全といった、地域や暮らしの中における取り組みが重要となる環境問題の解決に向け、各保健福祉環境事務所を拠点とした、地域環境協議会を設置しており、市町村や事業者、NPOなどの民間団体、地域の皆さんと一緒に、意識作りを行うイベント等を行っています。

## 環境指導課/環境課環境指導係

環境指導課/環境課環境指導係では、大気・水・土壌環境の保全や廃棄物の適正処理の推進に関する業務を行っています。

大気・水・土壌環境の保全業務では、関係法令に基づく申請・届出の審査・指導や立入検査等を行っています。また、定期的に河川、地下水、海水浴場等の水質検査や土壌環境調査等を行っています。

廃棄物関係の業務では、関係法令に基づく申請・届出の審査・指導や立入検査・パトロール等を行っています。

また、河川の油流出事故や不法投棄の通報に関する現地調査・対応等を行っています。

## 2. 主な配属先の位置図





### 3. とある職員の業務日誌



**永田 浩章**

入庁7年目

所属 環境部自然環境課  
環境影響調査係

#### 自己紹介

生まれも育ちも福岡県です。高校時代の友人が技術系公務員として働いている話を聞き、この仕事に興味を持ちました。

#### 担当業務

主に温泉法に関する業務を行っています。温泉法は、温泉資源の保護や可燃性天然ガスによる災害の防止などを目的として、温泉の掘削や公共利用には許可が必要となります。私はその許可申請の審査等を行っています。



**8:25 登庁:**  
地下鉄で通勤しています。

**8:30 業務開始:**  
メールや業務の進捗状況を確認します。今日は、温泉の掘削許可申請の可否等を審議する会議である温泉部会の事前打ち合わせをオンラインで実施するため、その準備を行います。

**9:30 打ち合わせ:**  
温泉部会を取りまとめる部会長とオンラインで事前打ち合わせを行います。打ち合わせでは、会議を円滑に行うために、申請内容の要点を整理します。

**11:00 会議資料作成:**  
打ち合わせの結果をもとに、会議当日に使用する資料を作成します。

**12:00 昼休み:**  
お弁当を持参して執務室内で食事をする人が多いです。庁内でお弁当を販売しているので、そちらを利用することもありますし、庁舎近くの飲食店に行くこともあります。

**13:00 会議資料作成:**  
午前中に引き続き、資料を作成します。

**15:00 窓口対応:**  
温泉の許可申請に関する相談を受けたり、届出を受け付けたりします。相談内容は既存の温泉井戸を掘り替えたいというものや、新規で温浴施設を開設したいなど様々です。基本的には事前に日程調整をして窓口に来ていただきますが、飛び込みのこともあります。

**17:30 退庁:**  
帰宅後は食事や映画にでかけることもあります。また、週に1回、仕事終わりに友人たちとフットサルを楽しんでいます。休日にはサッカーをしたり、ドライブに出かけたりします。



#### こぼれ話:

化学職として採用された場合、基本的には環境行政に携わることが多く、異動先も限られますが、業務内容は、廃棄物の処理に関することや大気・水質に関すること、私の現在の業務である温泉に関する事など様々ですので、学ぶことの多い毎日です。

「化学」職という職種ですが、化学以外のバックグラウンドを持つ職員もいます。私自身も大学の専攻は化学ではありませんでしたので、化学専攻かどうかは気にせず、多くの方に興味を持っていただけたらと思います。



## 自己紹介

佐賀県出身で大学から福岡に来ました。都会と自然のバランスが取れた福岡県で環境に携わる仕事をしたいと思い入庁しました。

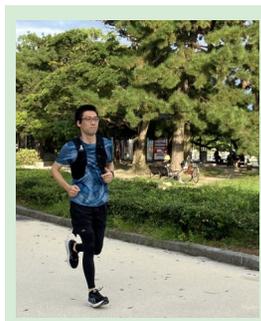
## 担当業務

EV（電気自動車）バッテリーの資源循環システムを構築する事業に携わっています。幅広い分野の事業者の方々と連携し、事業計画の策定や実証事業に取り組んでいます。

## 宮地 宏直

入庁17年目

所属 循環型社会推進課  
事業化推進係



### 7:40 登庁:

地下鉄で通勤しています。車内の混雑を避けるため、早めに出勤し、職場で新聞を読んでいます。

### 8:00 業務開始:

メールをチェックし、1日の業務スケジュールを計画します。

### 10:00 打ち合わせ:

係内や課内で事業の進捗状況を共有し、今後の進め方等について打合せを行います。  
(進捗が早く、変化の多い事業のため、関係者間での情報共有をこまめに行っています。)

### 12:00 昼休み:

気分転換もかねて散歩しながら、県庁舎近くの飲食店に行きます。

### 14:00 事業者との協議:

事業の進め方や方針について、関係事業者と協議を行います。  
(様々な事業者と連携して事業を進めているため、毎日のように頻りに協議を行っています。)

### 15:00 資料作成:

庁内照会、予算資料、プレゼン資料など、大切に間に合うよう計画的に各資料を作成します。

### 17:00 退庁:

夕食を作って、子供たちと団らんの時間を過ごします。  
1週間に2、3日は趣味のランニングに励んでいます。

## こぼれ話:

化学職は主に環境行政に携わりますが、一口に環境行政と言っても、その業務内容は環境保全、廃棄物対策、資源循環など多岐にわたります。県庁では、約3～5年ごとに異動があるため、幅広い業務を経験しながら専門性を培うことが可能です。

また、環境部に限らず、企画・地域振興部や商工部といった他部局を経験する機会もあります。近年は県庁全体で働き方改革に力を入れており、ワークライフバランスの取れた柔軟な働き方がしやすくなったと感じています。



## 大塚 世志子

入庁4年目

所属 リサイクル総合研究  
事業化センター  
プロジェクト推進班

### 自己紹介

関西出身で学校卒業後に福岡にきました。福岡の穏やかな雰囲気に惹かれ、県の発展に貢献したいと思いました。

### 担当業務

社会課題の解決のため、民間事業者と協力してプロジェクト事業を進めています。概ね3年で事業テーマは変わりますが、現在は使用済プラスチックを回収し、再資源化する社会システムの構築に取り組んでいます。



### ＼リ総研って??／

公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター(略称 リ総研)は、北九州市若松区にある、リサイクルなど3Rに関する新技術・社会システムの構築・事業化を支援するための機関です。

事業としては、産学官民のチームで行われる技術開発や実用化に向けた研究開発への支援事業や、福岡県が重点的に取り組むべきリサイクルに関する社会課題等を県や民間事業者と連携して実施するプロジェクト事業などを行っています。



#### 7:45 登庁:

車通勤をしています。朝の渋滞を回避するため早めに出勤しています。

#### 8:00 業務開始:

今日の業務内容の確認とメールチェックをします。

#### 9:00 朝礼と資料作成:

朝礼では、班内の予定確認と情報共有を行います。朝礼後は、資料作成等の事務処理を行います。

#### 11:00 打合せ:

班で事業の進捗確認や進め方について協議します。プロジェクト事業の遂行は一筋縄ではいかないので、対応方針を話し合い、乗り越えていきます。

#### 12:00 昼休み:

毎週火曜日に来るキッチンカーを楽しみにしています。お気に入り地鶏のおろしポン酢丼です!

#### 14:00 出張:

医薬品が入っていたプラスチックボトルを使用済プラスチックとして回収している薬局ヘインタビューを行いました。

#### 16:00 出張:

事業の協力事業者と事業の方向性や課題、今後の流れについて協議しました。

#### 17:00 退庁:

この日は出張先から直帰しました。遠方から通勤しているため、出張は直帰できる時間に組むことが多いです。帰宅後は趣味のバイオリンの練習をしています。金曜日は飲みに行くこともあります。

### こぼれ話:

化学職の配属先といえば、本庁か保健福祉環境事務所が代表的ですが、外郭団体であるリ総研も配属先の一つです。

プロジェクト事業の目標達成に向けて、自ら方針を決め事業を遂行していくことはとてもやりがいがあります。リ総研の仕事はあまり知られていないため、これを機に知っていただけたら嬉しいです。

県内外の出張が多いですが、定時で帰れることがほとんどなので仕事もプライベートも充実です!



## 自己紹介

環境に関する仕事がしたくて、学生時代から環境系の公務員を志望しており、地元に近い福岡県に入庁しました。

## 担当業務

産業廃棄物に関する現場での監視・指導を行っています。また、河川、地下水及び海水浴場などの水の環境に係る常時監視も行っています。

## 瀬山 智晶

入庁12年目

所属 筑紫保健福祉環境事務所  
環境指導課



### 8:25 登庁:

子どもの朝の支度をして、電車で通勤しています。

### 8:30 業務開始:

朝のミーティングに参加し、スケジュールの確認後、メールのチェックを行います。

### 10:00 河川採水:

河川の水質の把握のため、河川ごとに採水を行います（この日は川底の土も採取しました）。採水後、検体を検査機関（保健環境研究所等）に搬入します。

### 12:00 昼休み:

普段は在勤庁で弁当を食べますが、出張時には外食することもあります。

### 13:30 立入検査:

産業廃棄物の処理を行っている事業者へ立入検査を実施し、適正処理が行われているか確認を行います。違法行為が行われていれば、適正処理を指導します。

### 15:30 レポート作成:

帰所後、立入検査の実施内容に関するレポートの作成を行います。撮影した写真のとりまとめも行います。

### 17:30 退庁:

帰宅後は、ごはんを食べた後、子どもをお風呂に入れていきます。

## こぼれ話:

環境に係る調査や現地確認の業務は、環境に関する仕事がしたかった者としては、とてもやりがいを感じています。

子育てに係る休暇も取りやすくプライベートも充実しています。



## 4. 化学職のキャリアパス

福岡県職員の新規採用者は本庁(県庁舎)、出先機関(各地域の事務所)のいずれにも配属される可能性があります。

化学職は主として本庁の環境部、または、出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門に配属されますが、採用後5年以内に最初の人事異動があります。

また、採用後10年程度のうちに一度は本庁勤務を経験する人事異動が基本とされています。

県職員としての段階ごとに求められる能力は図のとおりです。



### 技師・主任技師

求められる能力

- ・業務目的と自分の役割の認識
- ・所属職員との協調、連携
- ・的確な事務処理と専門的能力の発揮

### 技術主査

求められる能力

- ・係長の補佐として係の業務のとりまとめ



## 部長

求められる能力

- ・県政全体の方向性を見通し、部局を横断する課題や目標を設定し、その達成に全力で取り組む

## 課長

求められる能力

- ・所属の責任者としての挑戦的な取組
- ・組織の統一



## 係長

求められる能力

- ・係の事務の責任者として積極的な取組
- ・係員の育成



## 5. 入庁1年目職員のアレこれ



高巢 陽菜乃

嘉穂鞍手保健福祉環境事務所  
令和7年4月入庁

### 自己紹介をお願いします

高巢陽菜乃と申します。新卒採用で、昨年度までは県内の大学に通っており、高分子材料学を専攻しておりました。よろしくお願いします。

### 現在担当している業務は どんな内容ですか？

産業廃棄物を工場等から収集しリサイクル工場等へ運搬するには、「産業廃棄物収集運搬業」の許可が必要です。私は、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の環境指導課に所属し、主にその産業廃棄物収集運搬業の許可審査に関する業務を行っています。具体的には、申請内容に対して、実務的な基準、経理的な基準を満たしているかを、法令に基づいて審査し、許可証の交付を行います。場合によっては、現場へ行き、法令を遵守しているかを確認し、法令を遵守できていない業者に対して指導を行います。また、同様の審査を自動車リサイクルに関する業務でも行っています。

### 化学職として県に就職して驚いたこと、 想像と違っていたことはありますか？

入庁までは、県は市町村と違って、窓口業務など県民の方と直接やり取りする機会はほとんどないと思っていましたが、現在の所属では毎日必ず事業者など県民の方と接する機会があり、一番のギャップでした。また、法律について尋ねられることも多く、コツコツ勉強しなければならないと感じています。



## 職場の雰囲気や先輩職員との関係について教えてください

雰囲気は賑やかで、楽しく仕事ができています。課内に3つの係がありますが、他の係の方とお話しする機会も多く、たくさんの先輩方に教えていただいています。

## 志望動機や採用試験を受けるまでの経緯を教えてください

最初は、民間企業や大学院進学を考えていましたが、大学の友人に技術系公務員のことを教えてもらい、興味を持ちました。また生まれ育った福岡に住み続けられることにも魅力を感じ、県職員を志望しました。大学では化学専攻ではありませんでしたが、不真面目がたり、かなり勉強しました(笑)。

## 担当業務において、役に立った経験や技能はありますか？

審査業務で、大学で学んだ化学物質が出てきたときに、大学の化学の知識が役立っていると感じます。また、学生時代に培ったコミュニケーション力も役立っています。特に事業者の方に説明する際や上司に報告する際は、要点を簡潔にまとめる必要があるため、必要な情報が漏れないよう、心がけています。

## 仕事の中でやりがいを感じる点や就職して良かったと感じる点はどんなところですか？

担当した事業者の許可審査が終了し、許可証を発行した時に達成感があります。特に、新規で許可を取られる事業者の方は、申請に関して不慣れなところも多く、こちらから様々な助言を行いながら審査を進めます。そういった新規の事業者の方に許可証を交付する際には、ありがとうございましたと言っていただけることもあり、やりがいに感じます。

## 最後に、受験生へのメッセージをお願いします！

化学職としての仕事は、その多くが環境関連の業務ですが、そういった知識に自信がない方でもまったく心配はいりません！私自身も仕事をしながら、現場を見ながら少しずつ勉強をしています。普段立ち入ることのない様々な場所に詳しくなれるのも、化学職の特権の一つだと思います！一緒に働ける日を心待ちにしています！



永田 侑駿  
南筑後保健福祉環境事務所  
令和7年4月入庁

## 自己紹介をお願いします

永田侑駿と申します。令和7年4月に入庁し、現在は南筑後保健福祉環境事務所で勤務しております。出身は熊本県ですが、大学の進学に合わせて福岡県で一人暮らしを始めました。大学では化学を専攻しておりました。大学院への進学が決定しておりましたが、入学の直前で進学を辞退し、同年の福岡県職員採用試験を受験しました。そのため新卒採用ではなく24歳になる年に入庁しました。よろしくお願いたします。

## 現在担当している業務は どんな内容ですか？

私の主な担当業務は、「廃棄物処理法」に基づいて事業者の監視・指導を行うことです。産業廃棄物を取り扱う場合は廃棄物処理法による様々な規制があります。産業廃棄物処理業者は、他社の廃棄物を受け入れ、破碎や焼却などの方法により処理します。この処理作業において、廃棄物が飛散したり有害な排水が流出したりすることがないように、現地の状況の確認及び採水による有害物質含有の有無の検査等を行っています。また産業廃棄物の処理は許可制となっているので、現場での対応だけでなく、許可申請の審査といったデスクワークも行います。

## 化学職として県に就職して驚いたこと、 想像と違っていたことはありますか？

入庁する前は主にデスクワークを行うと想像しておりました。しかし化学職として実際に勤務してみて事務所の外での業務が多いことに驚きました。産業廃棄物処理業者の監視・指導を行う上で、現場での状況把握は非常に重要です。

また、福利厚生の手厚さにも驚きました。休みの取りやすさや、各種給与手当は想像より充実していました。



## 職場の雰囲気や先輩職員との関係について教えてください

とても活気のある職場だと感じております。また先輩職員の方々はどんな質問にも快く答えてくださるため、難しい業務でも一人で悩まずに解決することができます。仕事以外でも、昼休みは所内で卓球をして汗を流したり、休日のイベントに参加したりなど、先輩方のおかげで公私ともに非常に充実しております。

## 志望動機や採用試験を受けるまでの経緯を教えてください

学生時代に福岡県で生活する中で福岡県の魅力に惹かれ、福岡県のために働きたい！と思い県職員を志しました。大学を卒業してから採用試験を受験したため、採用試験までは約三カ月間で準備をしました。一般科目は学生時代に専攻していない、社会科学を中心に学習しました。専門科目は繰り返し演習を行い、学生時代に履修した単元を一通り復習しました。

## 担当業務において、役に立った経験や技能はありますか？

パソコンの基本的な使い方は学生時代に学んでいて良かったと思います。公文書の書き方や法律の読み方など、はじめは苦労することもあります。入庁後の研修でさまざまなスキルを身に付けることができるため心配する必要はありませんよ！

## 仕事の中でやりがいを感じる点や就職して良かったと感じる点はどんなところですか？

産業廃棄物処理業者に対して日々試行錯誤しながら指導を行っております。その指導に相手が応え、改善が見られたときは特にやりがいを感じます。また化学職は産業廃棄物以外にも、公害対策や自然環境保護などの部門があり、幅広い仕事に携わることができる点も、県庁に就職して良かったと感じる点です。

## 最後に、受験生へのメッセージをお願いします！

化学職は県民の皆さんの環境や生活の安全を守る仕事です。責任感をもって仕事に臨む必要がありますので、その分やりがいを強く感じることができます。採用試験は万全の準備で臨めば、きっと乗り越えられます。一緒に働ける日を楽しみにしています！



## あゆみ 6. 先輩職員の軌跡



### 入庁からのキャリアと印象深い案件

最初に赴任したのは、当時田川市内にあった田川保健所（現在の保健福祉環境事務所）で、工場や事業場からの排ガスや排水の規制、公害の苦情処理などに携わっていました。

公害苦情があった時には、必ず市町村の職員の方々と一緒に現地へ赴き、対応することでそれぞれの立場から説明や指導を行っていました。その際、問題解決には、市町村との連携は大事であることを感じました。

その後、本庁に異動し、産業廃棄物処理業の許可や福岡県環境総合基本計画及び福岡県地球温暖化対策実行計画の策定にかかわったり、下水道公社に出向して下水道の維持管理業務を経験したりしました。

監視指導課で企画主幹の頃、産廃許可業者が多量の廃棄物を敷地内に放置して生活環境保全上の支障が生じていたことから、撤去の命令を出しましたが、撤去が進まなかったため、原因の許可業者だけでなく、排出事業者や土地所有者にも法的な責任を追及し、粘り強く撤去の協力要請を行い、片付けることができた事案がありました。県が代執行を行わずに現場を改善することができた案件として、印象に残っています。

また、環境保全課長の頃、国の支援制度を活用して3年間で32の県有施設に太陽光発電設備を設置することとしましたが、庁内の工事発注部署が多忙で対応できなかったため、デザインビルド（設計と施工を合わせた一括発注）方式で民間企業へ直接委託して工事を進めたことも、印象に残っています。

いずれも、通常とは違う方法で事業を実施しました。どうすれば実施できるか、あきらめずに、関係者と協議・検討を重ねることで解決策が見つかったのです。



## 環境部における重点的取り組み

福岡県環境総合基本計画で定める「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会」の構築を目指して、地球温暖化対策、資源循環の推進、生物多様性の保全などに重点的に取り組んでいます。

再エネの導入促進としてPVや蓄電池の共同購入制度を構築したり、中小企業の脱炭素経営を促進するため、事業場のCO<sub>2</sub>排出量の見える化や削減計画の策定を支援したりしています。また、中古EVの海外流出を防ぎ、貴重な資源である中古EVバッテリーを安定回収できるように、中古EVの普及促進に向けたリース事業を始めています。

さらに、特定外来生物防除として、アライグマの防除実施計画を策定し、防除講習会の開催や専用捕獲機の無償貸与などを行っているところです。

## 次長としての心構え

次長になってからは、個別法に基づき所管する事務事業はないため、実際に何かを実施しようとする時は、部内の関係課と協議するとともに部長の了解を得て、対応することになります。特に、事務職である部長と協議する際には、技術職としてのこれまでの経験を踏まえて、説明することを心掛けています。

課長時代は、所属長として所管事務の中で、実施する事業について課内職員と一緒に協議して具体的な内容等を決定してきましたが、次長になると直接決定することはありません。

関係課と協議する際に、部内の他課の動き等を踏まえ助言したり、部内各課の事業の進捗状況を把握・管理したりします。

また、部長の代理として各種の会議やイベントに出席することもあり、環境部内だけではなく、県全体の動きや国内外の社会情勢等についてもある程度把握しておく必要があり、情報収集の範囲が広がります。



## 化学職を志す皆さんへ

化学職は、その名称と異なり、日常業務において試験研究を行うわけではなく、事務職の方々と一緒に行政マンとして働きます。そこでは、常に、県民に寄り添いつつも公平・中立な立場に立って物事を考え、行動することが必要だと思います。

現場では県民や事業者の方々と直接向き合い、法令に基づき説明や指導を行う必要もありますし、本庁では環境に係る将来計画を策定することもあります。施策の策定には、国の動向や社会情勢等も考慮する必要がありますから、日頃から情報収集に努めておくことが望まれます。

本県が目指す「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会」を構築したいという方、ぜひ、私たちと一緒に働きませんか。



京築保健福祉環境事務所 環境長

永嶋 恭博



平成4年	入庁
平成30年	宗像・遠賀保健福祉環境事務所 環境指導課長
令和2年	京築保健福祉環境事務所 環境課長
令和4年	南筑後保健福祉環境事務所 環境指導課長
令和6年	京築保健福祉環境事務所 環境長

## 入庁からのキャリアと印象深い案件

私は大学卒業後すぐに、福岡県に化学職として入庁し、当時大川市にあった三潯保健所（現在の保健福祉環境事務所）で環境保全業務に携わりました。

環境保全業務というのは、工場に立入して排水や排気ガスを検査したり、河川や湖の水質調査を行ったりといった、地域の生活環境を保全する大事な仕事です。

当初は、職場の先輩から業務の基本を色々教わりながら、何とか業務を進めることができました。その後、2～5年間隔で本庁環境部と出先（保健福祉環境事務所、浄化センター（現在の下水道管理センター））を行き来しながら、現在に至っています。

その中で印象深い案件は、京築保健福祉環境事務所の環境指導係長の時、県域を跨いだ産業廃棄物の不法投棄案件に取り組んだことです。隣接する大分県の保健所と協議を重ねた上で、協同して行為者に粘り強く指導を行い、最終的には適正処理をさせることができました。当時の経験から、関係機関との連携および信念を持って取り組むことの必要性を実感しました。

## 環境事務所における重点的取り組み



持続可能な社会を実現するためには、事業者だけでなく県民誰もが環境負荷の少ない行動を実践することが重要です。そのため、県民の皆様、特に将来の福岡県を担う子供達への環境啓発活動として、環境家計簿を採り入れた水辺教室に力を入れています。

また、京築地域には自動車、セメント、製薬などの大きな工場があり、廃棄物処理業者や工場の監視を強化し、市町村などの関係機関と連携しながら、課題解決に取り組んでいます。



## 環境長としての心構え

環境長とは出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門の責任者であり、管轄する地域の生活環境を保全するため様々な取組みに挑戦するポジションです。地域の生活環境を保全するため、事業目標の設定、事業の基本方針の決定、外部機関との折衝などを行います。

また、京築保健福祉環境事務所の環境部門には環境課（地域環境係、環境指導係）があり、所属する職員を統率する立場にあります。

近年、環境問題は複雑化しており、保健福祉環境事務所の環境部門だけでは解決できない問題が増えています。環境問題を解決するためには、国・市町村・NPO・企業など県以外の関係者との連携を強化することが重要です。



環境長として、日頃から関係機関との対話を重ね、連携を深めるよう努めています。また、部下職員が働きやすく、やりがいを持って仕事に取り組めるよう、職場環境、人員、組織体制などを整備することにも力を入れています。

## 化学職を志す皆さんへ

福岡県では「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会の構築」を目指し、様々な課題に取り組んでいます。そのためには、環境配慮型のビジネススタイルやライフスタイルへの転換など、社会活動の転換が必要になります。

化学職の職員は、問題現場での対応だけでなく、県計画の策定、民間団体や企業との協働など幅広い仕事をしています。

福岡県の環境をより良くするためには、皆さんの柔軟な発想と行動力が必要です。

ぜひ、私たちと一緒に福岡県の未来を創っていきましょう。





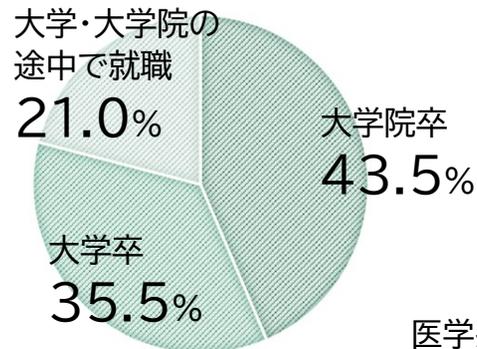
## 7. 化学職のバックグラウンド

化学職の新規採用者は、新卒から転職者まで様々なバックグラウンドを持っています。  
ここでは、参考情報として、大学の所属学部や前職経験に関するアンケート調査結果を御紹介します。

(回答者数 62名)

### 1. 学歴

大学院卒が一番多いですが、途中就職組も結構います。

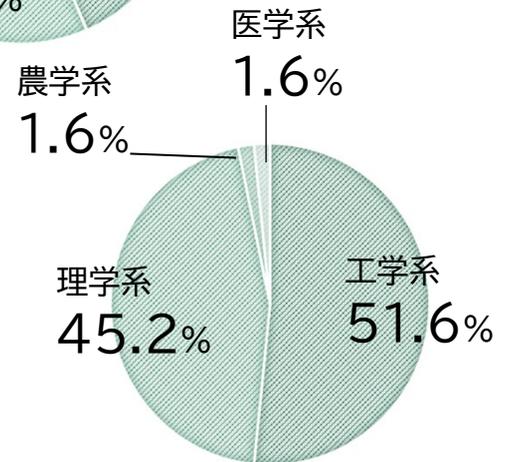


### 2. 学部系統

工学系・理学系出身者が大半です。  
全体の学科・専攻の内訳をみると・・・

化学系  
生物系  
物質・材料系 など

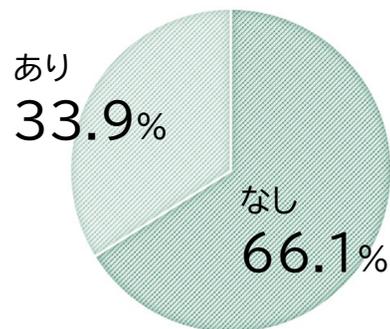
化学専攻者ばかりではありません。



### 3. 前職経験

前職分野の内訳は・・・  
メーカーの技術職・研究職  
公務員  
教育関係 など

前職経験者が結構います。



#### 【参考】最近の試験実施状況

年度	採用予定数	受験者数	最終合格者数	倍率
令和 7年度	10	14	9	1.6
令和 6年度	7	12	7	1.7
令和 5年度	5	17	7	2.4
令和 4年度	5	20	6	3.3
令和 3年度	3	14	4	3.5

## 8. 化学職Q&A よくある質問



### Q1. 化学職はどんな仕事をしますか？

A. 主に、本庁の環境部や出先機関の保健福祉環境事務所で、福岡県の環境行政を担っています。ちなみに、環境部門以外の所属や外郭団体に働くこともあります。

### Q3. 入庁までに専門的に勉強しておくべきことって何かありますか？

A. 特に必要ありません！ひとえに環境行政といっても、幅は広いです。入庁後に自身の担当業務に関する研修も開催されますので、入庁後に頑張りましょう！

### Q5. 入庁時の配属先（勤務場所）はどこになりますか？

A. 基本的には本庁や県内に6か所ある出先機関のどこかになります。本庁よりも出先機関に配属となる人の方が多いイメージです。

### Q7. 勤務時間はどうなっていますか？

A. 基本的な勤務時間は8:30～17:15ですが、例えば下記のような勤務時間を選ぶこともできます！

- ① 8:00 ～ 16:45
- ② 9:00 ～ 17:45

### Q9. 働くときはスーツが必須ですか？

A. 公務員はスーツとのイメージがあると思いますが、全員がいつもスーツを着ているわけではありません(笑) オフィスカジュアルや支給の作業服で事務仕事をしている人もいます。

### Q11. 化学職内での交流はありますか？

A. 保全技術者の会や環境部の新任者歓迎会等、通常業務では関わることのない上司や先輩たちと話す機会があります。また、若手職員研修では、柳川で川下り体験もしました！

### Q2. 理系や化学専攻じゃなくても化学職になれますか？

A. 環境に関心があれば文系でも大丈夫です！化学専攻ではない先輩職員もたくさんいます。特別な資格も不問です。

### Q4. 男女比はどれくらいですか？

A. 極端に男女比が偏ってはいませんが、全体としては男性の方が多い印象です。部署によっても違いがあります。

### Q6. 入庁時に引越しは必要ですか？

A. 採用前から福岡県在住の方は、それまでの家から通勤されている方が多いようです。また、県外の方は、福岡市近郊に引越す場合が多いようです。職員住宅や寮もあります。

### Q8. 休暇は取りやすいですか？

A. 20日間分ある有給休暇は時間単位でも取得可能です(4月採用の場合、最初の年は15日間分)。最近は10連休を積極的にとるように言われるぐらい、長期の休みがとれるようになっています。

### Q10. 残業は多いですか？

A. 部署や個別の業務内容にもよるので一概には言えません。しかし、No残業デーや働き方改革の取り組みもあり、ワークライフバランスはとってもらやすくなってきています！

### Q12. 何年ぐらいで異動がありますか？

A. 大体 3 ～ 5 年を目安に異動があります。同じ庁舎内での異動もあれば、遠方の庁舎や東京など引越しが必要となることもあります。

以上、パンフレット作成チームからでした。皆様と一緒に働ける日をお待ちしております！  
※回答はチーム員の個人的な見解に基づくものであり、県職員採用部門の公式見解ではありません。



【福岡県職員 化学職志望者向けパンフレット】  
—令和8年版— 福岡県職員化学職って？

**編集・発行 福岡県環境保全技術者の会**

福岡市博多区東公園7-7(福岡県庁)  
<http://KangiKai,sunnyday.jp/>

電子版パンフレットは  
こちら！！↓

